

## 5月播種に適し、高品質なだいこん品種「YR桜坂」

「YR桜坂」は、現在春播きで使用されている「天宝」よりやや強い萎黄病抵抗性を持ち、裂根や岐根などの障害の発生が少ない。また、6月播きの「貴宮」よりやや高い晩抽性をもつため、5月播種作型に適する。なお、「YR桜坂」は平成15年に本県の推奨品種として採用された。



写真1 「YR桜坂」

### 来歴

「(源助×黒葉系宮重)×大陸系」の後代と「(源助×黒葉系宮重)×二年子」の後代との組み合わせで、2001年に命名・発表された。

### 適応作型

5月上旬～5月下旬播種作型(ただし、高冷地では6月播種)

### 特性

- (1)「天宝」よりも根長は短い、根形は尻詰まりが良く、総太り型である。
- (2)萎黄病抵抗性は「天宝」よりも強い。
- (3)晩抽性は「貴宮」と同程度からやや強く、抽だい株率が概ね10%以下になるのは、播種後20日間の日平均気温が12.5以上の場合と推測される。
- (4)空洞症や裂根などの生理障害は「天宝」よりも少ない。
- (5)青首部の着色程度は「天宝」より淡い。
- (6)地温による抽だいや短根の発生が心配されるので、無理な早播きを避けたり、マルチを使用するなどの対策が必要である。

表1 収穫時の生育

播種日	調査日	品種名	調製重 (g)	根長 (cm)	根径 (cm)	総太り型 割合(%)	抽だい株 率(%)	障害発生割合(%)				
								空	裂	岐	曲	縞
5月9日	7月10日	天宝	1179	31.5	7.8	10(60)	0(0)	0	0	15	5	15
		YR桜坂	987	29.4	7.3	45(100)	0(20)	0	0	0	0	10
5月26日	7月23日	天宝	1031	30.8	7.9	15(75)	0(0)	0	10	0	5	0
		貴宮	1069	29.5	7.8	10(70)	0(0)	0	0	0	0	0
		YR桜坂	1061	31.8	7.1	55(85)	0(0)	0	0	0	0	0
6月10日	8月8日	貴宮	1216	30.9	7.8	55(90)	0(0)	0	0	5	0	0
		YR桜坂	1055	30.9	7.2	40(95)	0(0)	5	0	0	0	0

注1) 県北農業研究所 平成15年度の試験データ

注2) 総太り型割合: 根部の総太り型の割合。( )内は円錐～総太り型の間を含む。

注3) 抽だい株は花茎長が1cmを超えるもの。( )内は花芽形成株。

注4) 障害はそれぞれ、空洞症、裂根、岐根、曲がり根、横縞。

表2 現地における萎黄病発生程度

播種日	品種名	発病株率(%)
H15.7.25	天宝	13.3
	YR桜坂	1.6

注1) 萎黄病多発圃場での試験データ。

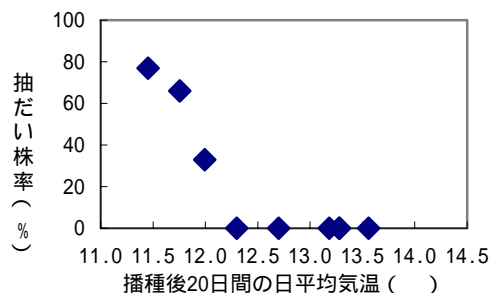


図1 「YR桜坂」の抽だい温度